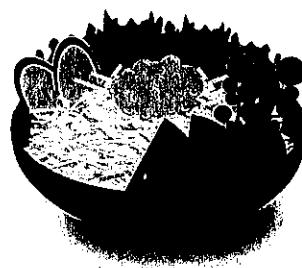


令和5年度（令和6年3月発行）

滑川市農業公社だより



学校給食用の
キヤベツ苗の定植を行う
東加積小学校の児童



発行／〒936-0023 富山県滑川市柳原79-1 公益財団法人滑川市農業公社 TEL・FAX 076-476-0285
<http://www.micnet.ne.jp/nmrkwagr/> E-mail:nmrkwagr@micnet.ne.jp

なめりかわキラリ農業 ひかる塾

農作業や加工品作りなどの体験会を行っています

生産者の方々との交流や各種体験などを通じて、農業や農村文化などの見聞を広めていただこうと、「なめりかわキラリ農業ひかる塾」を開設しています。

今年度は、参加者を募り下記のとおり実施しました。

★ Aコース（2回開催）

第1回（8月26日）秋冬野菜の植え付け体験

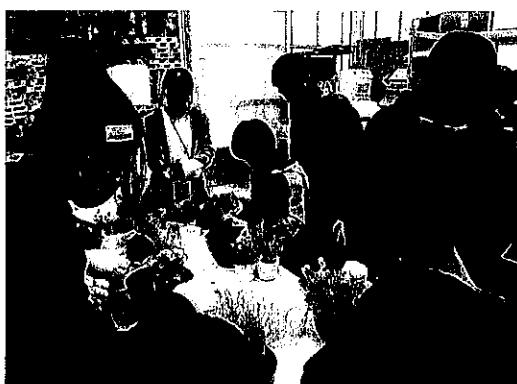
市内の子供たちに、少しでも多くの滑川産の野菜を食べてもらいたいとの思いから、新大崎野営農組合の協力により、参加者の皆さんで学校給食用の秋冬野菜（キャベツと大根）の定植作業を行いました。

その後場所を移動し、（農）水土里の園芸用ハウスにおいて石坂直樹さんの指導のもと、ミニトマトの収穫体験を行いました。



学校給食用キャベツの定植を行う参加者

第2回（10月28日）キャベツなどの収穫とガーデニング体験



ガーデニングを体験する参加者

新大崎野営農組合圃場において、秋冬野菜のキャベツと大根の収穫を行いました。その後場所を移動し、滑川市花卉園芸協会の石原明さんを講師に、花苗の寄せ植えを行いました。

（※当日、収穫したキャベツと大根及び寄せ植えした鉢は、各自持ち帰りました。）

新大崎野営農組合圃場のキャベツと大根の収穫は10月末から12月にかけて行い、学校給食用として、滑川市学校給食共同調理場に提供しました。

★ Bコース（2回開催）

第1回（10月14日）米粉を使ったお菓子と料理づくり体験講座

滑川市農村女性グループ連絡研究会の中村奈保美会長と会員の方々を講師に、チキンのワインビネガー煮・トマトのスープ・フライパンでバナナパン（全てのメニューに米粉を使用）を各々のグループに分かれ作りました。

（※出来上がった料理は持ち帰りました。）



米粉を使った料理を調理する参加者

第2回(1月20日)りんごジャムと味噌作り体験

滑川市農村婦人研究会の稻垣保子会長と会員の方々を講師に滑川産りんごと結晶果糖などを使ってりんごジャムを、ひかり味噌加工組合の神谷かなゑ会長と会員の方々を講師に、滑川産コシヒカリや滑川産大豆・海洋深層水を使って味噌を作りました。

(※出来上がったりんごジャムと味噌は持ち帰りました。)



りんごジャム作りを体験する参加者



味噌作りの説明を受ける参加者

令和6年度も、令和6年7月広報のチラシ(予定)にて、ご案内させていただきますので、知人・友人お誘い合わせのうえ多くの方々の参加をお待ちしています。



特産品のPRと販売を行っています

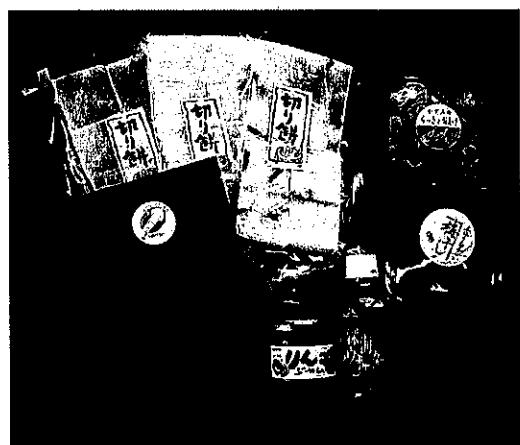


ふるさとの味を手軽に味わってもらおうと、市内で生産されている農産物や加工品を『なめりかわ味覚だより』として特産品のPRと販売を行っています。

『なめりかわ味覚だより』は、緑豊かな大地からの贈り物として、1等米を100%使用した「滑川産コシヒカリ」をはじめ、ほどよい粘りと固さのある「里芋」、酸味と甘みのバランスがよい「りんご」と「りんごジュース」、滑川市農村婦人研究会の皆さんのが手作りした「りんごジャム」・「梅干し」・「健康茶」、また「海のミネラル水」などを詰め合わせた17種類の商品を取り揃え、お客様からの申し込みを受けて全国に発送しています。

また、当市の特産品を多くの方々に知っていただこうと、東京滑川会や関西滑川会の総会で『なめりかわ味覚だより』のチラシ配布や会員への送付など実施し、当市の特産品のPRと販売を行いました。

『なめりかわ味覚だより』のお申込み方法等については、当農業公社(TEL476-0285)までお問い合わせください。



味覚だより商品の一例

● ● 野菜作りを体験する農園を貸出しています ● ●

野菜作りを楽しんでいただこうと、滑川市上島地内で1区画約5坪の農園を貸出しています。令和5年度は4月22日に開園し、利用者の皆さんは思い思いの野菜を栽培され、取れたての新鮮な野菜を自宅に持ち帰り家族で味わうなど、作る楽しみと収穫の喜びを実感されました。野菜作りは、その年の天候などに左右されることから、「農園だより」を発行し利用者の皆さんにお知らせしています。

また、管理方法などについて、ひかる市の会員の方を講師に、講習会を開催しました。

令和6年度も、令和6年4月広報のチラシにて、ご案内させていただきますので、知人・友人お誘い合わせのうえ多くの方々の利用をお待ちしています。

さらに、滑川市などとの共催で「野菜づくり講習会」を2月7日、滑川市役所東別館3階大会議室で開催し、富山農林振興センターの目黒修平さんから、「おいしい野菜づくりのポイント」について講演があり、参加者の皆さんにはメモを取りながら受講されていました。



ひかる市の会員の方から説明を受ける参加者

農地の貸し借りと農作業の受委託の事務を行っています

より効率的かつ安定的な農業経営が行えるよう、JAアルプス滑川営農経済センター・滑川市・滑川市農業委員会などの関係機関と連携を図りながら、農地の貸し借りと耕起・田植え・稲刈りなどの農作業受委託について手続きなどを行っています。また、県農地中間管理機構を通した利用権設定についても、滑川市農業委員会を通して関係書類の手続きを行っています。

利用権設定とは、法律に基づいて貸し借りの契約を結ぶもので、契約した期間がくれば貸借契約は終了し、安心して農地の貸し借りをすることができます。また、貸借期間が終了する時には、貸し手の方と借り手の方の双方に通知しますので、更新するか終了するかは、その都度所有者と耕作者の双方で確認を取っていただき、手続きを行うことになります。

お気軽にご相談ください。

- | | |
|-------------------|--------------|
| ・公益財団法人滑川市農業公社 | TEL 476-0285 |
| ・JAアルプス滑川営農経済センター | TEL 475-6900 |
| ・滑川市農業委員会 | TEL 475-2111 |



当農業公社が賃貸借料金の精算を行う利用権設定した契約については、事務手数料として賃貸借料金の1%を徴収させていただいております。

なお、令和2年4月から法改正により、滑川市農業公社を通じての利用権設定の更新等の契約はできなくなりましたので、今後の更新等は、所有者と耕作者との相対契約とするか、富山県農地中間管理機構を通じての契約となります。

● ● 担い手の育成と子供たちの農業体験学習を支援しています ● ●

市内の生産組織などから申し込みのあった担い手を対象に、栽培管理や農業機械の安全操作などに関する通信教育研修を行いました。県などの関係機関と連携を図りながら、滑川市農業公社だよりやホームページなどを通して就農に関する各種情報を提供しています。

また、長期的な観点から市内の子供たちが農業体験を行うことにより、食に関わる人々の活動と地元食材に対する知識と理解を深めるとともに、農業に対する関心の醸成を図るため、東加積小学校において、キャベツと大根の秋冬野菜作りに取り組みました。

10月末から12月にかけ収穫した野菜は、学校給食用の食材として滑川市学校給食共同調理場に提供しました。



キャベツ苗の定植を行う生徒(東加積小学校)



キャベツの収穫を行う児童(東加積小学校)

○ ○ 学校給食に地元野菜などを積極的に活用しています ○ ○

次代の滑川市を担う子供たちに、食の大切さや地元食材に対する知識と理解を深めてもらうと、関係機関が連携・協力して学校給食に滑川産食材を積極的に使用するための取り組みを行っています。

JAアルプス滑川営農経済センターと滑川市学校給食共同調理場などと連携を図りながら、滑川ひかる市運営協議会の会員の皆さんをはじめ、市内の農家の皆さんや生産組織などにご協力をいただきながら、学校給食へ滑川産食材の活用促進に努めています。

生産組織においては、『(農) はやつき』が人参と玉ねぎ、『(農) ファーム下大浦』が里芋、『(農) みのりファーム追分』がじゃがいも、『(農) 営農笠木』が深層水トマトとねぎなどを栽培され、学校給食用に出荷していただいている。

生産者の皆さんには、自家用と合わせて少しでも多くの野菜を栽培していただき、学校給食用に出荷していただきますよう、お願いいたします。

学校給食用や野菜の栽培と出荷関係等については、当農業公社にお問い合わせください。





新規就農希望者を応援します!



公益社団法人富山県農林水産公社（以下、県公社）では、市農業公社等の関係機関と連携し、新規就農希望者に対する就農相談や農業体験の実施のほか、とやま農業未来カレッジの運営、求人情報の提供、青年農業者が自ら行う資質向上の取組みに対する支援を行っています。

1 就農相談

県公社では、「自分で農業経営を行いたい」、「農業法人に就職したい」、「農業についていろいろと知りたい」といった方を対象に、隨時、相談や求人情報の提供を行っています。

| 相談会等 | 時期等 | 場所 |
|----------------|---|-----------|
| とやま農林漁業就業支援フェア | 8月10日(土)10:00～15:30（法人等が出展） | 富山県民会館 |
| とやま農林漁業就業支援相談会 | 4/9、5/14、6/11、7/10、9/10、10/8、11/12、1/14、2/12、3/11 時間はいずれも13:30～15:30 | ボルファートとやま |
| 県公社内での就農相談 | 隨時（月～金、8:30～17:15） | 森林水産会館6階 |

東京などの都市圏でも、就農イベント（新・農業人フェア等）や県主催の移住・転職フェアにブースを出展するほか、オンラインによる就農相談を行っています。

2 先進農家等での農業体験

社会人や大学生を対象に、希望作目（米、野菜、果樹、花き、畜産等）に合った先進農家等での作業体験研修（5～30日間）を受付けています。

3 とやま農業未来カレッジ（富山市吉岡）

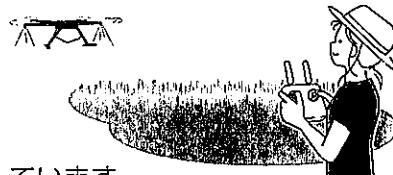
県内で就農希望される方を対象に、通年研修生を募集しています（募集期間：6～11月）。

| 区分 | 対象者 | 研修期間 | 募集期間 | 研修内容 |
|------|-------|-----------|-------|--|
| 通年研修 | 就農希望者 | 4～3月（週5日） | 6～11月 | ① 水稲、野菜、花き、果樹等の栽培技術や農業経営等を幅広く学ぶ座学 ② 県内の先進農家のほ場での実習、ICT園芸ハウスでの実習 ③ 農耕用大特免許等の資格取得や機械の点検整備 ④ 農家派遣研修等の校外カリキュラム等 |

※令和7年度から、より実践的な園芸を学ぶことができる2年目コースを設置。

4 就農準備研修

独立・自営就農、雇用就農、親元就農を目指す青年（就農予定時の年齢が49歳以下）が、とやま農業未来カレッジ、農業法人等で通年研修を受ける場合、年間150万円（最長2年間）を交付します（要件等詳細はお問い合わせください）。



5 農業機械研修

スマート農業普及センター（富山市婦中町）において、①初心者研修（新規就農者や女性を対象）、②農業機械士養成研修（農耕用大型特殊やけん引免許の取得等）、③農作業安全研修、④スマート農業研修を開催しています。

6 青年農業者に対する支援

県農林振興センター所長の推薦を受けた概ね45歳までの青年農業者が取り組む、①農業機械の操作資格等の取得、②県内外で実施される研修の受講、③販売、宣伝に係る催事への参加、④先進的な農業経営新技術体系の導入、パソコンソフトによる経営管理技術の導入に対して支援しています。

お問い合わせ先 公益社団法人富山県農林水産公社 農業担い手育成課 TEL 076-441-7396

◎就農に関する情報は、県公社ホームページ内の「とやま就農ナビ」をご覧ください。

URL <https://taff.or.jp/nou/syounou-navi/>